

**PPGグローバル不正行為防止方針**

**はじめに**

70か国以上で事業を展開するグローバル企業として、PPGは多くの法規制を遵守する必要があります。これらの法律や規制の中でも重要なのは、贈収賄と不正行為を規制するものです。

これらの要件を認識し、誠実に行動して不正行為を防ぐための当社の[グローバル倫理規範](http://corporate.ppg.com/Our-Company/Ethics.aspx)（以下「規範」）への取り組みを明確にするために、PPGはグローバル不正行為防止方針（以下「方針」）を設けています。本方針は、世界中のPPG Industries、Inc.（以下「PPG」）、およびPPGが完全所有または管理する子会社（以下「子会社」）に適用されます。本方針は、当社の規範を基につくられています。世界中で施行される、数ある厳格な賄賂防止法および不正行為防止法を遵守するために、当社の行動を管理する基準と原則を強化することがその目的です。

PPGが事業を行うすべての国が、1つ以上のこうした法律の対象となっています。例としては、米国の連邦海外腐敗行為防止法（FCPA）、フランスのロイ・サパン2、メキシコの全国腐敗行為防止制度、英国賄賂防止法、中国刑法、ブラジルの企業腐敗防止法などがあげられます。これらの法律にはいくつかの違いがありますが、いずれも腐敗を無くし、グローバル市場において誠実であることで人々の信頼を回復し、ビジネスを行う上での公正かつ競争が存在するような商業環境を促進するために導入されました。

**方針**

当社の方針：

* 当社は、あらゆる国での、あらゆるビジネス取引における贈収賄および不正行為を禁止しています。
* PPGの従業員、またはPPGに代わって行動する人は、PPGの事業を行う際に、賄賂またはキックバックを約束したり、申し出たり、提供したり、受け入れることはできません。
* 当社は、第三者の仲介業者、民間企業、政府、またはそれぞれの代理人との、帳簿に載らない取引を禁止しています。
* これらの禁止事項は、PPGおよび他の当事者との間のあらゆる取引に適用されます - 民間団体、個人、国有組織/公共団体/政府組織または政府職員であるかどうかは関係ありません。
* 当社は、会社の取引を正確かつ公正に反映し、十分な詳細が記載されている完全な帳簿と記録を作成し、これを維持します。
* 当社は、[PPGの会計監査役マニュアル](https://one.web.ppg.com/na/globalfinance/policies/Documents/CM.pdf#search=controller%27s%20manual)に記載されているように、適切な内部会計管理システムを維持します。

本方針は、グローバル倫理規範の[*贈収賄および不正行為*](http://corporate.ppg.com/Our-Company/Ethics.aspx)、ならびに[*ビジネスおよび財務記録*](http://corporate.ppg.com/Our-Company/Ethics.aspx)セクションを補完するものです。 本方針は、[第三者の調査に関する方針](https://one.web.ppg.com/na/ethics/en/Pages/Due-Diligence-Policies-and-Procedures.aspx)もサポートしています。

**ガイダンス**

PPGの従業員として、次の点を理解することはあなたの責任です：

* ***賄賂は現金に限定されません。*** 賄賂には、商業上または政府の決定に不適切に影響を与えることを意図したあらゆる「価値のあるもの」が含まれます。「価値のあるもの」には、現金、現金同等物、贈答品、食事、接待、旅行、個人の所有物、債務の肩代わりまたは免除、慈善寄付、後援、サービス、雇用の申し出、またはその他の不適切な便宜が含まれます。少額、またはささいな贈答品/敬意のしるしは、一般的に賄賂とは見なされません。

 会社によるもてない、旅行、贈答品、接待および食事は、状況にふさわしいものでなければならず、PPGの方針、そして受け取り側が拠点を置く国の法律および規制に準拠している必要があります。たとえば、PPGの生産施設、研究施設またはその他の施設を正当な事業目的で訪問する顧客の出張費用を負担することは適切であり許容されますが、慎重に行うことが重要です。 訪問期間は、事業目的を果たすのに必要な時間に見合うものでなければならず、出張費用は合理的で、実際の出張関連費用のみを負担します。出張の延長、買い物、サービスなど、関係のない経費は、顧客自身が負担する必要があります。詳細は、[PPGの出張に関するグローバル方針](https://one.web.ppg.com/na/travel/TE/Policies/2018%20Policies/PPG%20Global%20Travel%20Policy%20030118.pdf)および[会計監査役マニュアル](https://one.web.ppg.com/na/globalfinance/policies/Documents/CM.pdf#search=controller%27s%20manual)を参照してください。

* ***賄賂を受諾したり、贈収賄が成立しなくても、法律違反になる可能性はあります。*** 賄賂の申し出や賄賂の支払いが断られたとしても、多くの国の法の下では、PPGが違反したことになります。また、支払いが実際に行なわれたかどうか、あるいは、受取人が実際に見返りを行ったかどうかは関係ありません。 不適切な申し出または支払いが行われた時点で、違反が発生します。
* ***許可、ライセンス、商品、その他の承認などを取得するための賄賂も違法です。***ほとんどの人は、賄賂というと、顧客からのビジネスの獲得を想像します。 ですが、営業許可やEHS許可、税控除、製品の承認または認証、事業を行うためのライセンスなど、その他の便宜を得るために政府や規制当局に賄賂を支払うことも違法です。不適切なビジネス上の便宜を得る目的で賄賂を支払うことはできないことも忘れないでください。
* ***政府職員に不適切な影響を与える試みは、いかなるものであっても特に厳しく禁止されています。***当社の方針は、PPGと政府機関/政府職員に加え、PPGとその商業パートナーとの間の贈収賄および汚職も禁止しています。 米国FCPAを含む一部の法律は、外国政府職員への賄賂や支払いに対し、特に大きな罰金と罰則を科しています。
* ***国有企業（SOE）の職員は、政府職員と見なされます***。多くの国では、PPGが取引を行うことになった会社の一部の所有権を、政府が持っている場合があります。国有企業は世界中、特に中国、ロシア、アラブ首長国連邦、インドネシアでは一般的です。その会社が完全な個人のベンチャーか、あるいは政府がある程度の所有権を持っているのかどうかは、必ずしも常に明白ではないので、PPGの従業員が、いかなる組織にも不適切な賄賂または支払いを提供しないことが、いっそう重要になります。
* ***当社の代理人および仲介業者が、当社に代わって賄賂を支払った場合も、PPGが責任を問われることがあります***。当社の商品とサービスを販売するために、PPGは多くの国で第三者を頼っています。賄賂および支払いの申し出や提供の禁止は、このような仲介業者にも同様に適用されます。同様に、その支払いが顧客または政府職員に不適切な利益をもたらすことをPPGが認識していたり、これを強く確信している場合は、顧客または政府組織に雇用されている人物の友人や親戚にも、不適切な支払いまたは賄賂を贈ることはできません。

 PPGは、代理人や仲介業者を審査および管理するために、徹底的な第三者のデューデリジェンスプログラムを開発・維持しています。詳細については、このサイトの情報を参照してください：[PPGによる第三者のデューデリジェンス](https://one.web.ppg.com/na/ethics/en/Pages/Third-Party-Due-.aspx)。

また、合弁事業パートナー、買収候補、およびそれぞれの代理人や代表者を選ぶときにも、適切なデューデリジェンスを行う必要があります。以下を怠った場合、PPGは、買収した企業または合弁事業パートナーが行った不適切な活動の責任を問われることがあります。(i) 潜在的な危険分野を慎重かつタイムリーに見直すこと (ii) これらの組織において、効果的なコンプライアンス・プログラムを導入すること (iii) 不適切な活動を阻止すること。

* ***リベート、プリベート、割引に注意してください。*** 多くの会社と同様に、PPGは交渉済の商業契約の一環として、契約やビジネスを締結したり、これらを保持するために、リベートやプリベートおよび同様の支払いや割引を顧客に提供する場合があります。契約に明記され、合理的かつSBUの現行に従ったもので、現金で支払われず、個人ではなく直接顧客組織に支払われており、当社の会計帳簿や記録に適切に記載され、契約要項に従っている場合、これらの支払いは「不適切」ではありません。
* ***正確で透明性のある帳簿と記録、および適切な内部会計規則が不可欠です。*** 当社の帳簿や記録において、取引を誤った区分に記載することは決して適切ではありません。賄賂は、手数料やコンサルティング料などの正当な支払いを装って隠ぺいされることがよくあります。 不適切な支払いが不正確に記録されたり、内部統制が弱く、不正が発生するリスクが発見されたりすると、多くの場合、賄賂の証拠がない場合でも、不正行為防止法違反で企業が起訴されることがあります。

 これに加え、おもてなしや旅行、贈答品、接待、および食事の一部として発生する費用と活動には透明性がなければなりません。つまり、こうした費用や活動を証明する記述には、関係者とビジネス目的が明記され、活動の説明や、支払われた金額も明示されていなければなりません。

* ***慈善活動への寄付も賄賂と見なされる場合があります。*** 慈善活動への寄付や後援が、贈収賄防止または不正行為防止の法律や規制に違反するリスクがあることを知ると、多くの従業員は驚きます。

 例えば、PPGのビジネスパートナーまたは政府職員が、慈善団体を積極的に支援していたり、慈善団体の役員を務めていることがあります。規範の[*慈善活動への寄付*](http://corporate.ppg.com/Our-Company/Ethics.aspx)セクションに詳しく説明されているように、当社とビジネス関係を結んだり、承認を取得したり、その他の不適切なビジネス上の便宜を得るために相手に影響を与える目的で、その慈善団体への寄付することはできません。

* ***政治献金***PPGは、会社が承認した方法で政治候補者を支援しますが、その支援は、現地法の要件内で、PPGの政府担当者の承認を得た上で行われます。慈善団体への寄付のリスクと同様に、政府職員またはビジネスパートナーに不適切な影響を与える目的で、政治家候補者または政党に寄付が行われる場合は、懸念されるべきです。  政治活動に個人で自発的に寄付をする以外に、支払いを政府職員に行うよう求められた従業員は、PPGの最高コンプライアンス責任者およびPPG政府問題担当者に連絡する必要があります。

**結果**

本方針および、不正行為防止および賄賂防止に関する方針や規制に対する違反は、会社と個人を含む両方にとって、深刻な刑事罰と民事制裁金につながる可能性があります。 こうした規制への違反があるかの疑いも与えないように、常に行動することが重要です。特定の法律では罰金に制限がなく、しばしば数百万ドルを超える場合もあります。個人に対する刑事罰は10年以上の懲役に加え、罰金が科される場合があります。この罰金をPPGが代わりに支払うことはできません。

本方針またはこれらの法規制への違反は、会社からの解雇を含む懲戒処分につながる恐れもあります。

**監視と確認**

PPGの方針、および適用されるあらゆる法規制に準拠して事業が世界的に行われていることを確実にするため、経営陣は管理体制を整える責任があります。PPGの企業監査サービスは、従業員が本方針と関連手順、および当該法や当該規制を遵守しているかどうかを定期的に監視・確認します。

**報告**

本方針またはこれらの法規制への違反を疑ったり、認識しているPPGおよびその子会社の取締役、役員または従業員は、PPGの最高コンプライアンス責任者、PPGの企業顧問、グローバル倫理およびコンプライアンス、以下に示す別のリソース、または匿名かつ機密に報告できるPPGの[「倫理ヘルプライン」](https://app.convercent.com/en-us/LandingPage/ada23786-4d8b-e611-810b-000d3ab2feeb)にその情報を伝える必要があります。

**リソース**

本方針や、当該する法律や規制に関して質問がある場合は、以下にご連絡ください：

* *PPG最高コンプライアンス責任者 – 米国 (412.434.3200)*
* *PPG企業顧問、倫理およびコンプライアンス（412.434.2434）*
* *PPG上級副社長および法務顧問 – 米国 (412.434.2471)*
* *PPG地域顧問：*
	+ *法務顧問 – アジア太平洋 （852.2860.4569）*
	+ *法務担当 – ヨーロッパ・中東・アフリカ (41.21.822.3011)*
	+ *法務部長 – 南米 （55 19 2103.6082）*
	+ *法務コンプライアンス部長 – ラテンアメリカ北部 (52 55 5284.1779)*